



↑議会ホームページ  
はコチラ

市議会だより No.107

# 市民の 議会

「千の輝き2025」で輝く若者たち



## 令和7年第5回羽咋市議会定例会 発言順序と質疑・質問項目一覧

開議日：令和7年9月17日(水)

| 順序 | 発言議員    | 質 問 項 目                                                                                                                                                  | 質問形式 |
|----|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 丸 田 一 幹 | (1) 安全対策について<br>(2) 移住者支援ツールについて<br>(3) 補助金について                                                                                                          | 一括質問 |
| 2  | 浅 野 俊 二 | (1) 弘和会の詐欺事件について<br>(2) 山出橋について<br>(3) 国道415号バイパス道路について<br>(4) 柴垣海岸の護岸工事について<br>(5) 柴垣町の交通対策について<br>(6) 企業誘致について<br>(7) 信号機の設置について<br>(8) 八幡橋の色のぬりかえについて | 一括質問 |
| 3  | 浜 名 等   | (1) 液状化対策について<br>(2) 液状化による境界問題について<br>(3) 公費解体跡地の雑草問題について<br>(4) 災害時の水の確保について                                                                           | 一括質問 |
| 4  | 備 後 克 則 | (1) 復旧・復興の加速化と災害防止対策について<br>(2) 大雨時の長曾川支流への逆流による浸水対策の現状と9月8日の大雨時の対応について<br>(3) 公費解体後の空き地管理と活用、地域の環境対策について<br>(4) 急激に進む人口減少、若者定住のための魅力ある職づくりについて          | 一問一答 |
| 5  | 松 永 幸 則 | (1) 職員の意欲を高める評価や組織風土のあり方について<br>(2) デジタル推進室の取り組みについて<br>(3) 教育に対する考え方について                                                                                | 一問一答 |
| 6  | 櫻 井 英 一 | (1) 能登半島地震の被災者支援について<br>(2) 災害初期対応について<br>(3) 社会福祉法人弘和会への特別監査について                                                                                        | 一問一答 |
| 7  | 酒 井 一 人 | (1) 「スクールバス」について<br>(2) 「羽咋健民自転車道路」について<br>(3) 「羽咋駅周辺」の賑わい創出について<br>(4) 今回の羽咋市議会議員選挙について                                                                 | 一括質問 |

開議日：令和7年9月18日(木)

| 順序 | 発言議員    | 質 問 項 目                                                                     | 質問形式 |
|----|---------|-----------------------------------------------------------------------------|------|
| 8  | 松 田 義 人 | (1) 能登駅伝について<br>(2) 被災建造物の解体について<br>(3) 防災倉庫及び備蓄品の整備状況について<br>(4) 超高齢社会について | 一問一答 |
| 9  | 川 口 雅 登 | (1) 介護予防ポイントについて<br>(2) 長曾川の浸水対策について<br>(3) 投票率対策について<br>(4) トキ放鳥について       | 一括質問 |



丸田 一幹 議員

## 備えあれば憂いなし 安全安心の先取りを



安全対策が待たれる千里浜町の新調整池

### 千里浜町新調整池の安全対策を望む

**【質問】** 千里浜町ト字の新調整池には柵も看板も無い。調整池は林の中にあり、子ども達が遊ぶには格好の場所かつ不法投棄も見つかりにくい。調整池の安全対策、表示義務などの規定は無いのか。法面の一部に亀裂が入っている。対策できないか。

**【答弁】** 調整池には明確な管理基準は無いが、機能維持の観点から施設点検や堆積土砂の撤去などを適切に実施する必要がある。今期工事で、法面保護や上部天端のアスファルトでの舗装など対策を行う予定で、令和8年度に防護柵や監視カメラを整備し、安全対策を講じる。

### 災害時活用井戸補助金について問う

**【質問】** 災害時活用井戸整備補助金の補助率は。

井戸を掘る際の調査費用も対象となるか。井戸を掘っても水が出なかった場合はどうか。また、市が管理している土地、建物、例えば千里浜公民館などに井戸を掘りたい場合はどうか。

**【答弁】** 本補助金は災害時に生活用水を確保するため、災害時でも採水可能な箇所で、自主防災組織や町会が管理する土地または設置の同意が得られる民有地での井戸整備を対象とする。具体的には、井戸整備に関する工事費や調査費などを対象経費とし、補助率95%、補助金の上限350万円とする。山間地などには削井が困難な地区もあるので、事前に相談してほしい。今後、制度が整い次第、自主防災組織や町会への周知を図っていく。



浅野 俊二 議員

## 市長の刑事告訴1700万円に ダマサレルナ



千里浜町たきの一ほーむ風和里 (介護施設)

### 血税1億円超え確実、なぜ隠すのか

**【質問】** 物価高や災害で苦しんでいる時、市民の税金を食い物にする悪徳な詐欺事件なぜ5か月も放置してきたのか。弘和会と岸市長や国会議員、市会議員、広域圏議長との金品のやり取りや選挙の応援、解体工事の500万円の中抜き指導等癒着の関係も明らかになった。そして第三者委員会は市が要請したそうだが、弁護士二人で金も少なく、話も一部の職員しか知らされていなく、恐ろしくて本当のことを言えない等不備がある。だから調査結果を見逃すので市は監督責任を負うべきだ。次に羽咋市長選の際、畝氏は決起集会の強要と岸博一氏に入れるよう投票行動まで強く指示。これは公職選挙法に抵触しないのか。また、松田義人市議当選（議員他3人）の際も商品券を持ってい

くように指示があった。市長は金品の受領があったのかどうか。

**【答弁】** 地域支え合い倶楽部村友に委託した管理運営に不正請求受領の疑いで羽咋警察署に告訴状を提出した。今回の不正は虚偽の出勤簿を作成し、勤務実態のない夜勤分の人件費を請求、受領した詐欺罪に該当する悪質な行為であり、告訴状を提出した。行政処分は、新規受入れ停止6ヵ月、報酬上限7割6ヵ月。返還請求額1,794万円、立入検査等実施し、不正確認し再発防止、第三者委員会の設置と調査結果報告を指導。利害関係者から独立しており、市に管理監督責任はない。私は弘和会の中で選挙の対応はどうされたか全く知らない。金品の受領全くない。



浜名 等 議員

## 液状化対策の先進地 大川町で実証実験開始



液状化による被害が大きい桜ヶ丘地区

### 大川町北新白鷺公園で実証実験始まる

【質問】 6月議会の答弁で市長は、液状化対策の地下水位低下工法の妥当性と効果を検証するための実証実験を進めていくと説明している。実証実験へ向けた現在の進捗状況と今後の日程について聞く。

【答弁】 液状化対策の実証実験については、実証実験の効果を確認するためのモニタリング業務を8月に契約し、9月末には実証実験の工事業者が決定する予定となっている。工事契約後、早急に工事に着手し、年内完了を目指し、令和8年1月より地下水のくみ上げを開始したいと考えている。所定の水位まで地下水位を低下させるには数か月の期間を要し、その間、定期的に地下水位の観測や地盤沈下についてもモニタリングを実施する。

### 維持管理費のかからない制度の創設状況は

【質問】 液状化対策でポンプを稼働させるには、電気が必要になるが、電気の供給源をソーラーや、風力などの自然エネルギーに頼ることはできないか。また、地元住民に維持管理費の負担のかからない制度の創設に向けた、国、県への要望活動の進捗状況は。

【答弁】 ポンプの電源として自然エネルギー等が活用できれば維持管理費の削減が可能になるが、常時排水が必要であり、電力の安定供給に課題がある。また、維持管理費の地元負担が発生しない制度については、同様の課題を持つ市町と連携しながら国や県に要望をしているが、現在のところ補助制度の創設には至っていない。



備後 克則 議員

## 復旧まで10年に落胆の声、 工期の短縮を



側方流動等により、ゆがんだ道路

### 液状化対策5つの不安、住民の合意形成急げ

【質問】 液状化地域の5つの不安は、①側方流動による境界のズレ②対策工事の範囲(工区)③工事の内容と住民同意④10年かかるといわれる工期⑤完成後の維持管理費の自己負担額などである。

特に完成までに10年かかると聞き、落胆の声が大きい。境界のズレは県や関係4市町のプロジェクトチームで最長7年が2年に短縮される。熊本地震では、1工区4、5年で完成したところもある。住民合意率を下げるなど工期短縮を図るべき。また、完成後の維持管理費は負担ゼロにすべきだ。

【答弁】 境界のズレは、R9年度末までに地籍を再確定する予定。液状化対策工事を実施した箇所から上下水道や道路復旧の順に取り掛かる。すべての復旧には10年程度を要する。住民合意につい

ては10月から調整を始め、まとまれば実施設計に進む。住民合意率は今後の国との交渉になる。維持費の住民負担が発生しないよう他市町と連携し国や県に要望していく。

### カラスのフン害が深刻、撃退と清掃に力を

【質問】 市の中心部のカラス被害が深刻。フンの後始末に住民が疲弊、商店街のイメージ保持のためにも早急な撃退と清掃支援が必要だ。

【答弁】 これまで鷹匠やLEDライトで対応し、9月から羽咋神社に撃退レーザーを試験的に設置した。捕獲おりによる個体削減にも努める。清掃支援として高圧洗浄機を無償貸与した。道路清掃も予算化し、今後も住民の意見を聴き対応していく。





松永 幸則 議員

## 羽咋市の未来は明るい



これからも輝く羽咋市

### 職員の意欲を高める評価のあり方は

**【質問】** 職員が提案したことや、実行に移したことを評価する仕組みや風土があるか。現在の羽咋市役所において、岸市長の現時点での認識、また今後どのように進めていきたいと考えているか。

**【答弁】** 提案については、市長が受け止めて実行させるということが必要だ。これまでに様々な提案が出され、担当課によって実現されている。これは、組織全体が前例にとらわれず、縦割りの弊害や慣例の打破、本質の追求など、役職にかかわらずコミュニケーションを図りながら取り組んでいる結果だ。人事評価では積極性や挑戦意識の要素で評価し、勤勉手当や昇給、昇任に反映させている。今後も挑戦意欲のある職員の育成と組織風土の醸成を進めていきたい。

### 教育についての考え方は

**【質問】** 八島教育長は、「百尺竿頭一步を進む」、「築城三年落城三日」、「不易流行」という言葉をよく使われる。それらの言葉を、今日までの教育行政の中において、どのような意図、どのような文脈で用いているのか。

**【答弁】** 不易と流行をバランスよく取り入れることが大切だ。一朝一夕でできるものではなく、長い年月と教職員のたゆまぬ努力の下で成り立っており、学校が信用を失うと、教育力を失っていく。様々な教育施策と教職員の努力により高い教育水準を構築しており、評価に一喜一憂するのではなく、さらに一步一步高みを目指し、取り組んでいきたい。



櫻井 英一 議員

## 被災者支援として負担軽減を図れ



建設型応急住宅（眉丈団地）

### 被災者への税負担の軽減、減免措置の継続を

**【質問】** 能登半島地震により滅失または損壊した住宅の敷地について、固定資産税・都市計画税の軽減措置を継続する特例措置の適用期間延長をお願いしたい。また、市・県民税についても減免継続を併せてお願いする。

**【答弁】** 被災住宅地に係る特例の適用期間の延長については、被災者の生活再建と負担軽減のため、全国市長会を通じ国へ要望している。R8年度税制改正大綱の公表を待って対応する。また、市・県民税の減免については、国からの減収補填があったR5年度の市・県民税のみ減免を行っている。R6年度は減免していない。R7年度以降の市・県民税の減免は現時点では考えていない。

### 社会福祉法人弘和会への特別監査

**【質問】** 3月、6月議会でも質問したが「現時点では答えられない」という答弁であったが、改めて特別監査、立入調査の実施結果についての報告を聞く。また、弘和会が独自に設置する第三者委員会の概要を聞く。

**【答弁】** 昨年12月、弘和会に対して公益通報があり、弁護士・警察と相談をしながら調査を進めてきたが、福祉避難所で人件費を不正に受給したとして、9月16日、弘和会の前理事長を詐欺容疑で刑事告訴した。第三者委員会の設置については、8月4日に弘和会顧問弁護士から設置して調査中であると聞いている。調査結果の公表については、社会福祉法人は事業の公益性、公共性の観点から公表されるものと理解をしている。



酒井 一人 議員

## 今住む市民の安全安心 そして羽咋から元気を



雑草の生い茂った羽咋健民自転車道路

### 自転車道路で、三民一体のマラソン大会を

【質問】 羽咋健民自転車道路は、雑草の繁茂で安全とは言えない。しかし、整備も兼ねて志賀町陸上競技場から千里浜なぎさドライブウェイまで、志賀町・宝達志水町・羽咋市の町民・市民が三民一体となって、「全羽咋」から能登へ震災復興の元気を発信するマラソン大会の企画はどうか。

【答弁】 自転車道路は震災により、道路損壊等で通行不可能な区間があり復旧までに数年要する。また、大会の可否は本市だけでは決定できないので、県、近隣市町、関係団体との協議も必要だ。能登半島地震からの復興と元気を取り戻すため、また、本市のスポーツを通じたまちづくりを推進する観点からも、今後の検討課題としたい。

### 子育て世代のためのスクールバスの運用を

【質問】 大雨や大雪など気象条件の悪いときや朝の忙しいご家庭の負担軽減が必要である。経済的軽減と安全安心の立場から、スクールバス（通園・通学）の運用を見直す必要があるのでは。

【答弁】 冬場の下校時や降雨時に、自転車通学の子ども達は困っている。富永地区や栗ノ保地区の一部に、空いているスクールバスを活用した体系を検討した。結果、タイムスケジュール上のコースを確保できたが、運転手を確保できないという人材不足の問題が発生する課題に突き当たっている現状がある。今後も安全・安心なまちづくりや子育ての観点から、通学環境整備に努めたい。



松田 義人 議員

## 責任世代として 未来を見据えた市政運営を



高齢者が集う通いの場

### 創造的復興の起爆剤に、能登駅伝への参加を

【質問】 石川県は、能登半島地震からの創造的復興の起爆剤として、能登駅伝の復活開催を検討している。能登ブームが生じた1968年から70年代前半における宿泊客数の増加との相関関係が示唆されており、プラスの経済効果を与えるものだ。

「能登は1つ」。能登駅伝の実施に向けた協議に羽咋市は参加しないのか。

【答弁】 石川県では、能登駅伝の復活を目指し、他県の駅伝やマラソン大会などの例を参考に調査検討を行い、能登駅伝開催基本計画案を今年度中に策定する。そのためのワーキンググループメンバーは石川県、日本陸上競技連盟、奥能登3市3町で構成されている。今後の動向を注視したい。

### 超高齢社会の波は、すぐそこまで来ている

【質問】 認知症高齢者数は、令和6年4月1日現在939人で、羽咋市の20人に1人が認知症である。

後期高齢化率は、2030年で29.5%、40年30.8%、50年36.1%となり、3人に1人が後期高齢者となる時代が必ず来る。後期高齢化率がさらに上昇した際の地域を考えた場合、本市としての課題とその対応策について、どのように考えているのか。

【答弁】 後期高齢化率の上昇に伴い、要介護認定者をはじめ、認知症高齢者や独り暮らしの高齢者など支援を必要とする高齢者が増加することが予測される。高齢者自身ができるだけ健康で自立した生活を送れるよう、生活習慣病や介護の予防に向けた取組みなどを一層進めていく。



川口 雅登 議員

## トキ放鳥の環境整備と 長曽川の浸水対策を



止まり木で深呼吸するトキ

### トキ放鳥の環境整備を

【質問】 国の特別天然記念物のトキの放鳥が今年7月に羽咋市南潟地区に決まった。本州での野生放鳥は初めてである。羽咋から能登全体に羽ばたけば能登復興の励みになる。トキが暮らせる環境は、人にもやさしい環境である。豊かな自然の中でたくさんの生き物と暮らすトキ。トキが定着・繁殖できる環境づくりを。

【答弁】 9月下旬に、羽咋市トキが舞う里推進協議会（仮称）を設立し、トキ放鳥及び定着に向けて取り組む。餌場確保には、環境に配慮した米作り農家に支援を行い、面積の拡大を目指す。共生する環境づくりには、多くの関係者の理解、協力が必要である。環境整備や観察ルールづくりを進めトキの定着や地元の機運醸成を図っていきたい。

### 長曽川の浸水対策を

【質問】 大雨になると長曽川に注ぐ普通河川が冠水・氾濫する。長曽会館付近一帯の田畑や家が浸水し被害が出る。浸水対策を。

【答弁】 長曽川の浸水対策の進捗状況は、現在、金丸出町地内の整備予定の調整池の詳細設計及び水門やポンプの排水設備の設計を実施している。設計がまとまった段階で、地元説明会を実施する。地権者との用地交渉も進め、用地取得を順次実施する。これらの準備が整い次第、市道余喜10号線の両側部分の調整工事に着手する。地元住民の協力をお願いする。

## 予算常任委員会報告

◎寺井 哲也    ○松永 幸則    丸田 一幹    松田 義人  
備後 克則    岡本 佐市    川口 雅登    酒井 一人  
浜名 等    櫻井 英一    新田 義昭    山本 泰夫  
浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第43号「令和7年度羽咋市一般会計補正予算(第6号)」など、議案3件、報告1件。

9月18日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案3件、報告1件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決、承認した。

審査の過程での主な質疑・答弁は以下のとおり。

【質問】 羽咋中学校体育館の空調や今後設置予定の羽咋体育館の空調について、設置後の維持管理経費を受益者にも負担させるのか。

【答弁】 羽咋中学校体育館は、維持管理費が年間400万円程度増加の見込み。羽咋体育館も空調設備を設置予定であり、いずれの施設でも一定の受益者負担が必要と考えている。

【質問】 社会資本整備総合交付金事業と道路メンテナンス事業で約1億円の減額だが、改良事業にどのような影響を与えるのか。

【答弁】 道路メンテナンス事業は橋の整備やトンネルに特化した事業で、麻の尻橋の完成により、この財源が不要となった。

また、社会資本整備総合交付金の減額は、国の交付額確定に伴う減額であり、本事業で実施予定の道路改良事業やLED化事業については、優先度を考慮し、実施時期を調整していく。

【質問】 障害者自立支援給付事業の補正予算で整備するシステムは、データ入力だけでなく、他の情報も提供できるのか。

【答弁】 当該事業は、就労支援の相談時に、本人に適した働き方を支援するサービスであり、今回の補正予算では、データベースのシステム更新費を計上したもので、情報発信機能は網羅しない。

その他、創業等応援補助金、スポーツ団体運営支援事業、コスモアイル羽咋管理運営事業、小学校施設整備事業についてなどの質疑・答弁がされた。



## 総務民生常任委員会報告

◎酒井 一人 ○丸田 一幹 備後 克則 川口 雅登  
松永 幸則 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第46号「職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について」など、議案3件。

9月19日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案3件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決した。

審査の過程での主な質疑・答弁は以下のとおり。

**【質問】** 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について、休暇制度が拡充されるのは良いことだが、体調不良等の突発的な場合にも対応できる申請手続きになっているのか。

**【答弁】** 今回の部分休業制度に限らず、突発的な休暇申請は、電話等で上司等に報告した上で、後日正式に休暇申請をしている。

**【質問】** 工事請負契約の締結について、競争入札ではなく、随意契約としているのはなぜか。

**【答弁】** 競争入札が原則であるが、法的条件を満たせば随意契約が可能となる。今回の下水道の契約については、全国上下水道コンサルタント協会と石川県と被災した全部の市で三者協定を締結し、当該協定に基づき随意契約をしている。

陳情1件については、聞き置いた。

付託案件以外の質問としては、介護予防ポイントのデジタル化による情報活用、旧余喜保育所と栗ノ保公民館の解体予定時期と跡地利用についての質問・答弁がされた。

## 産業文教常任委員会報告

◎浜名 等 ○松田 義人 岡本 佐市 寺井 哲也  
櫻井 英一 新田 義昭 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第49号「羽咋市営住宅条例の一部改正について」など、議案3件。

9月19日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案3件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決した。

審査の過程での主な質疑・答弁は以下のとおり。

**【質問】** 羽咋市営住宅条例の一部改正について、指定管理者による市営住宅の管理が可能となることを入居者に説明したのか、市の業務負担は軽減されるのか、また、家賃は上がらないのか。

**【答弁】** 今回の条例改正は、指定管理者制度を可能とする改正であり、制度の導入自体が決定したものではないため、入居者への説明は行っていない。指定管理者制度を導入した場合、一部を除いた業務を民間等に委ねることが可能となり、市の

業務負担の軽減と入居者サービスの向上が図られると考えている。また、家賃の算定方法は法令で定められており、指定管理者が決定するものではない。

陳情2件については、聞き置いた。

付託案件以外の質問としては、スクールバスの安全運行と運転員の確保、深江・三ツ屋地区のほ場整備の見通し、子浦川の堆積土砂の撤去、柴垣海岸の護岸工事と海岸清掃についてなどの質問・答弁がされた。





## 決算特別委員会報告

◎松永 幸則 ○備後 克則 丸田 一幹 松田 義人  
岡本 佐市 酒井 一人

当委員会に付託された案件は、「令和6年度羽咋市一般会計歳入歳出決算」をはじめ、4つの特別会計歳入歳出決算、2つの企業会計決算の合計7件。

9月22日を初日とし、計2日にわたり委員会を開催し、予算が適正かつ効率的、効果的に執行されたか、また、市民福祉の向上に寄与し、行政効果が十分発揮されたかを主眼に、慎重に審査した。

その結果、当委員会に付託された認定7件については、賛成多数又は全会一致をもって、原案のとおり認定した。

審査の過程での主な質疑・答弁は以下のとおり。

**【質問】 単年度収支が約1億円の赤字だが、今後の大型事業の繰上償還や債務負担行為を見据え、将来の財政の見通しを示せ。**

**【答弁】** 実質収支は、災害関連補助金の未入金分を地方費で立替えのため減少したが、翌年度に入金予定である。また、公費解体の影響で市債が増加したが、交付税に算入されるため財政影響は小さい。

**【質問】 移住者定住促進事業における移住者の異動理由と本事業の効果を示せ。**

**【答弁】** 移住者の異動理由は、市窓口を通さない場合は不明な事例も多く、今後調査を進め施策に活用していく。PR事業の費用対効果の把握は難しいが、継続して移住者の増加を目指していく。

**【質問】 歴史民俗資料館の利用者増加の理由を示せ。**

**【答弁】** 姉妹都市である藤岡市との交流展示や観光協会と連携した展示などにより利用者数が増加した。

**【質問】 基金運用における債券の売却損および市の債券運用方針の見解を示せ。**

**【答弁】** 売却損は国債の利率上昇に伴う入替えの際に発生したもので、より高い運用益を得るために積極的な債券運用を行った結果である。今後の債券入替えにおいては、売却損が当該年度の運用益の範囲内になるよう基準を改め、金融情勢を踏まえた、柔軟かつ効率的な公金運用に努める。

その他、LAKUNAはくいにおけるイベントの費用対効果、ペーパーレス化の検証、就学援助の状況、特定健診等の受診率、災害臨時特例補助金、下水道の水洗化率についてなどの質疑・答弁がされた。

## 羽咋市議会議員政治倫理条例に「ハラスメント防止条項」を追加

## 【趣旨】

近年、職場でのハラスメント問題は社会的な関心が高まっており、国や地方自治体においても、再発防止や未然防止に向けた取り組みが進められている。

しかし、地方議会でも議員間や職員、市民との間での議員によるハラスメント事案が報告されており、議会としての厳正な対応が求められている。

今回の改正案では、羽咋市議会議員政治倫理条例に「議員は、あらゆるハラスメント行為を行ってはならない」旨を明記し、ハラスメント防止と問題発生時の対応方針を定めた。

市議会は、市民の代表が集い、市政を議論・決定する公共性の高い場であり、議員自らがハラスメントのないまちづくりを推進する姿勢を明文化することで、議会全体の信頼性と透明性の向上にもつながると考え、本条例を改正した。

条文中に次の条項を追加した。

あらゆるハラスメント行為（行為者の意図にかかわらず、相手方を不快にさせ、相手方の尊厳を傷つけ、相手方に過剰な要求や威圧的な言動をし、又は相手方に不利益若しくは脅威を与えることをいう。）、誹謗中傷、その他人権侵害のおそれのある行為をしないこと。

## 令和7年 第5回定例会

## 9月議会 議決一覧

議員提出議案1件、令和7年度羽咋市一般会計補正予算や条例改正案など、市長提出議案9件、報告1件、認定7件、追加提出された人事案件7件を原案のとおり、可決、承認、認定、同意とした。

## ■全会一致で議決された議案

| 議 案 番 号    | 議 案 名                             | 議決結果 |
|------------|-----------------------------------|------|
| 議員提出議案第2号  | 羽咋市議会議員政治倫理条例の一部改正について            | 可 決  |
| 市長提出議案第43号 | 令和7年度羽咋市一般会計補正予算(第6号)             | 可 決  |
| 市長提出議案第44号 | 令和7年度羽咋市水道事業会計補正予算(第1号)           | 可 決  |
| 市長提出議案第45号 | 令和7年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第1号)          | 可 決  |
| 市長提出議案第46号 | 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について        | 可 決  |
| 市長提出議案第47号 | 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について           | 可 決  |
| 市長提出議案第48号 | 羽咋市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について  | 可 決  |
| 市長提出議案第49号 | 羽咋市営住宅条例の一部改正について                 | 可 決  |
| 市長提出議案第50号 | 市道路線の認定について                       | 可 決  |
| 市長提出議案第51号 | 令和6年度羽咋市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について    | 可 決  |
| 市長提出報告第26号 | 令和7年度羽咋市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の報告について | 承 認  |
| 市長提出認定第2号  | 令和6年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について   | 認 定  |
| 市長提出認定第3号  | 令和6年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について  | 認 定  |
| 市長提出認定第4号  | 令和6年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について     | 認 定  |
| 市長提出認定第5号  | 令和6年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について   | 認 定  |
| 市長提出認定第6号  | 令和6年度羽咋市水道事業会計決算の認定について           | 認 定  |
| 市長提出認定第7号  | 令和6年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について          | 認 定  |
| 市長提出議案第52号 | 千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて      | 同 意  |
| 市長提出議案第53号 | 千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて      | 同 意  |
| 市長提出議案第54号 | 千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて      | 同 意  |
| 市長提出議案第55号 | 千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて      | 同 意  |
| 市長提出議案第56号 | 千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて      | 同 意  |
| 市長提出議案第57号 | 千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて      | 同 意  |
| 市長提出議案第58号 | 千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて      | 同 意  |

## ■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

| 議 案 番 号       | 議 案 名                         | 丸田 | 松田 | 備後 | 岡本 | 川口 | 酒井 | 松永 | 浜名 | 寺井 | 櫻井 | 新田 | 山本 | 浅野 | 議決結果 |
|---------------|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
|               |                               | 一幹 | 義人 | 克則 | 佐市 | 雅登 | 一人 | 幸則 | 等  | 哲也 | 英一 | 義昭 | 泰夫 | 俊二 |      |
| 市長提出<br>認定第1号 | 令和6年度羽咋市一般会計<br>歳入歳出決算の認定について | ○  | ○  | ×  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  |    | ×  | 可 決  |

議長は採決に加わりません



## 羽咋市議会における議会改革の主なあゆみ

### 1. 過去の主な改革事項

#### (1) 本会議及び委員会等

- ① 予算常任委員会の設置〔H29年3月〕⇒ 連合審査会による新年度予算の審査廃止
- ② 本会議における質問等の一問一答方式の導入〔H28年3月〕
- ③ 本会議における質問回数（一問一答方式）の制限緩和〔H31年2月〕  
⇒大項目ごと1人2回→3回まで
- ④ 本会議及び常任委員会でのクールビズ（ノーネクタイ等）の実施
- ⑤ 本会議及び常任委員会のインターネット生中継及び録画放映の実施（現在YouTube配信）
- ⑥ ケーブルテレビによる本会議の録画放映の実施
- ⑦ 1月、4月、7月、10月の議会全員協議会の開催〔H27年4月〕
- ⑧ 議案等採決結果の議会だより掲載〔H26年3月〕
- ⑨ 羽咋市議会災害対応ブックの作成〔H30年12月〕
- ⑩ 羽咋市議会議員政治倫理条例、規則の制定〔R2年3月〕
- ⑪ タブレット端末の導入〔R4年5月〕
- ⑫ 関連質問の制限〔R6年12月〕  
⇒1議会に1議員2回まで、1議員の質疑・質問に対し関連して発言できる他の議員の数は2人以内とし、発言回数は1人1回1項目、時間は1分程度とする。
- ⑬ 常任委員会会議録のHPへの掲載〔R7年1月〕
- ⑭ 羽咋市議会議員政治倫理条例に「ハラスメント防止条項」（9ページ参照）を追加〔R7年9月〕

#### (2) 経費について

- ① 議員定数の削減〔H24年6月〕 15人→14人
- ② 政務調査費の不交付（H19年度から23年度、R2年度下半期）
- ③ 常任委員会行政視察費の増額（レンタカー使用の廃止）
- ④ 昼食費の公費負担廃止 議員互助会から（毎月1万円徴収）
- ⑤ 市議会表彰の記念品廃止

### 2. 今後の実施・検討事項

- (1) 災害時情報共有のあり方
- (2) 本会議における一般質問及び関連質問等の内容と質問時間
- (3) 市民アンケートの実施
- (4) オンライン活用（委員会や議員研修）
- (5) 議員出前講座や市民タウンミーティングの実施
- (6) 子ども議会の開催
- (7) 適正な議員定数と議員報酬、政務活動費
- (8) 議会関連（本会議除く）会議への飲料持ち込み など

## 議会活動報告

|          |                                |            |     |
|----------|--------------------------------|------------|-----|
| 6月7日(土)  | 第11回関西羽咋会総会                    | (議長出席)     | 大阪市 |
| 6月21日(土) | 第11回ふるさと関東羽咋会総会                | (議長出席)     | 東京都 |
| 6月30日(月) | 第113回能登五市議会議長会定期総会             | (議長、副議長出席) | 珠州市 |
| 7月3日(木)  | 令和7年度河北・なぎさ千里浜海岸保全期成同盟会総会      | (議長出席)     | 羽咋市 |
|          | 令和7年度千里浜海岸保全・利活用推進協議会総会        | (議長出席)     | 羽咋市 |
| 7月10日(木) | 議会全員協議会                        |            |     |
|          | (1) 6月梅雨前線による被害状況について          |            |     |
|          | (2) オーガニックビレッジ宣言について           |            |     |
|          | (3) 免疫再獲得のための予防接種費用助成の拡大について   |            |     |
|          | (4) 復興個別計画の策定について              |            |     |
|          | (5) 耐震住宅リフォーム支援事業の制度拡充について     |            |     |
|          | (6) 復興公営住宅等の指定管理者制度の導入について     |            |     |
| 7月11日(金) | 令和7年度能登総合開発促進協議会理事会、総会         | (議長出席)     | 金沢市 |
| 7月14日(月) | 令和7年度のと里山空港利用促進協議会総会           | (議長出席)     | 輪島市 |
| 8月4日(月)  | のと里山空港の機能強化に係る要望               | (議長出席)     | 東京都 |
|          | 国道415号整備促進期成同盟会総会              | (副議長出席)    | 高岡市 |
| 8月8日(金)  | 北陸新幹線建設促進石川県民会議令和7年度総会         | (議長出席)     | 金沢市 |
|          | 議会全員協議会                        |            |     |
|          | (1) 兵庫町地内宅地開発(追加)について          |            |     |
|          | (2) 都市計画道路東大通り線の整備について         |            |     |
|          | (3) 羽咋市民大学2025について             |            |     |
|          | (4) 旧余喜小学校施設利活用に係る事業者募集について    |            |     |
|          | (5) 邑知保育園の指定管理への移行について         |            |     |
|          | (6) 令和6年度指定管理施設のモニタリング評価結果について |            |     |
| 8月19日(火) | 第151回石川県市議会議長会定期総会             | (議長、副議長出席) | 金沢市 |

## 市民の声を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまの声を募集しています。

感想などは下記までお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200

羽咋市議会事務局

電話 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

Eメール [gikai@city.hakui.lg.jp](mailto:gikai@city.hakui.lg.jp)

## ■傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催しています。

一度、傍聴してみませんか。

## ■YouTube(ユーチューブ)でも視聴できます

能越ケーブルネットでの議会本会議のライブ配信(生中継)に加え、YouTubeでは、議会本会議・常任委員会のライブ配信(生中継)・録画配信をご覧いただけます。

※配信される映像及び音声は本市議会の公式記録ではありません。

## 【羽咋市議会YouTubeチャンネル】



※携帯電話等で視聴する場合の通信料は視聴者のご負担となります。

## 編集後記

市議会だよりをお読み頂きありがとうございます。読書など最適な季節となつてまいりました。さて、市議会では安全安心のために災害時の備え、危険箇所の防護対策、また、能登の自然を守り、伝えるためのトキ放鳥準備について話し合われております。羽咋の空にトキが羽ばたく姿で皆様と感動を分かち合える日を楽しみに環境を整えていきます。「羽ばたく」という言葉は自由や成長を期待させてくれる言葉です。「夢は笑われても羽ばたく」と言いますが、年齢や環境に関係なく、目標に向かって積極的に行動することで人生を豊かにし、可能性を広げていけると思います。では、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛頂き、これからも市議会だよりを楽しみにして頂けますようお願いいたします。(丸田一幹)

## 市議会だより編集委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 松田 義人 |
| 副委員長 | 丸田 一幹 |
| 委員   | 備後 克則 |
|      | 川口 雅登 |
|      | 松永 幸則 |